

八尾高 エコハイスクール 2006 整備マップ

平成16年度全日本学校関係緑化コンクール準特選受賞!

＜本校既存施設エコマップ解説＞

- ① 樹齢100年を超える「グローラス・ユーカリ」で、本校のシンボル樹。葉形は成長と共に変化し、気孔が葉の両側にある。種皮は固く、本校の発芽例は数例しかない。
- ② 2000年3月に生徒教職員で1,500本を植樹し、郷土の里山の再生を目指すビオトープ。
- ③ 郷土のコイ科魚類で、絶滅危惧種IA類に指定されている「ニッポンバラタナゴ」の保護を目指す、ソーラーパネルを利用した池水自動循環装置を備えた里池ビオトープ。
- ④ 郷土の針葉樹「ナギ」を本校のメインロードの並木道として、長い目で育てていく構想。
- ⑤ 外溝フェンスを低くメッシュとし、桜並木が美しい、八尾市長瀬川遊歩道の景観保全ゾーンに協力。
- ⑥ 旧大和川の左岸堤防跡。祠や鳥居があったことから「狐山」と呼ばれる。エノキの樹形が美しい。
- ⑦ 男子洗面所の照明をまかないながら、災害非常用バッテリーに蓄電。最大出力510Wと小型であるが、本校の環境教育基本構想のシンボル。
- ⑧ 地域のペットボトル回収拠点施設。校内でのゴミの分別推進のシンボル。
- ⑨ 1946年に中国四川省で発見され、「生きた化石」と呼ばれる、中生代白亜紀～新生代第三紀に繁栄した裸子植物で、本校の樹木の中で最も樹高が高い。

- ⑩ 校舎ならびにグラウンドに降った雨水を、地中埋設の雨水管を通して1カ所に集めている。貯水した雨水をポンプで汲み上げ、グラウンド散水用の水として再利用。貯水量は14tにおよぶ。
- ⑪⑫ 散水・非常災害用井戸と高圧バルブ並びに散水車を配備

⑤ 八尾市緑化ゾーン

⑬ 20KWソーラーシステム

⑦ ユーカリ樹

八尾高校ビオトープ ② 2000年の森 ③ ニッポンバラタナゴ 里山ゾーン 里池ゾーン

④ ナギの並木道

⑪ 井戸

⑪ 散水用バルブ

⑩ 雨水貯水施設 散水用ポンプ

⑧ ペットボトル 回収拠点

⑨ メタセコイア

メイングラウンド

⑫ 散水車

長瀬川

百年橋

南グラウンド

部室棟

国蝶オオムラサキの舞うエリア

⑥ 旧大和川左岸土手跡

⑦ 風力太陽光併用 発電装置

ゆうかりホール
資料館

壁面緑化

平成15年度全国学校ビオトープコンクール奨励賞受賞!

さらに環境に優しい八尾高校をめざした
エコハイスクール2006整備案を で示します

